

夏休みのたからもの

夏休みは充実した日々になったでしょうか？子どもたちが取り組んだ『夏休みのたからもの』には、好きなことや興味があること、得意なことなど児童の個性が表れました。

今年は、8月30日から『たからもの展』を体育館で開催し、自由研究や工作などの力作を展示しました。夏休み中の子どもたちのがんばった成果として、保護者の皆さんにも、一人ひとりの多様さ、個性、興味の広がりをお伝えできたと思います。

山県市展覧会に先立つ選考会では、本校からも多くの入選作品が選出されました。以下に最優秀作品（◎）、山県市優秀作品（○）、山県市優良作品（無印）を紹介します。

科学作品：◎尾関将成、◎寺町駿之介、村瀬克宏（6年）、川田愛佳、信田隼翔（5年）、福永泰生、村瀬彩加里（4年）、山田明生、山川蓮（3年）、古川凱斗、杉田莉央奈、杉田亘紀（1年）
社会科作品：◎大石陽奈心（6年）、◎安掛陸（2年）、林哲平（6年）、藤嶋凉禾、林美怜（5年）、玉井梓（4年）、橋本和樹、古田幸来（3年）
図工科：◎小原梨央（6年）、○山下創士（4年）、藤森柚花、村瀬愛実（6年）、モラルソン桜子、藤森莉衣咲（5年）、柳原進之介、丹羽友里（3年）、恩田楓、寺町琴羽、神谷健斗（2年）、秋野森心春、藤田悠大（1年）
家庭科：神谷麻衣（6年）、福永陽麻里、福井珠理、小原悠実（5年）、村井由凜（4年）
その他：○古田あかり、鷲見心夢（5年）、後藤隼杜、森田絢仁（3年）、長屋翔星、林龍希（2年）、柳原早良（1年）
読書感想文：◎杉田亘紀（1年）、○村瀬克宏（6年）、○林美怜（5年）、○村瀬彩加里（4年）、市原三菜美（6年）、村田明佳音（5年）、杉田結衣那（4年）、村上太一、平野文都（3年）、安掛陸、矢川陽（2年）、杉田莉央奈（1年）

5年生の古田あかりさんは、山県で栽培されているバナナについて調査し、楽しくまとめました。6年生、小原梨央さんの作品は、富岡小学校をそっくりに再現しました。見る人を飛行機に乗った気分にさせてくれます。ともに、つくるだけでなく、自分なりの工夫を加えていました。

夏休みのタブレット利用について

3年生以上は、夏休みにタブレットを家庭に持ち帰りました。長期休暇中の持ち帰りは初めての体験です。そこで夏休みの利用について、アンケート調査を実施しましたので報告します。

①使用するルールを守る意識について 意識していない。 <u>2.9%</u> あまり意識していない <u>18.2%</u> 意識している。 48.0% よく意識している。 29.9% わからない。 1.0%	②使用時間が連続2時間を超えることがある よくある <u>5.8%</u> たびたびある <u>11.5%</u> あまりない 24.0% ない 56.6% わからない 1.9%	③学習や課題追求以外（遊び）の使用がある よくある <u>4.8%</u> たびたびある <u>10.6%</u> あまりない 27.9% ない 55.8% わからない 0.9%
④タブレットの使い方で心配がある よくある <u>2.9%</u> たびたびある <u>5.8%</u> あまりない 35.6% ない 52.9% わからない 2.8%	⑤たからものづくりで利用している よくある 1.9% たびたびある 5.8% あまりない 17.3% ない 72.1% わからない 2.9%	⑥アプリケーションを学習に使っている よくある 8.7% たびたびある 25.9% あまりない <u>26.9%</u> ない <u>33.7%</u> わからない 4.8%

多くの家庭では、ルールを守れているものの、一割から二割の子どもたちは上手に使えていない実態があります。以下のように具体的な問題も挙げられました。

心配なこと

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none">・長時間の使用により、視力の低下が心配。・動画の閲覧やカメラを使って遊んでいる。・ロイロ経由でネットに入り、ゲームをする。・書くことが無くなってきたことが心配。 | <ul style="list-style-type: none">・親が指導できないことが問題。・学習のために使い始めるが、いつの間にか遊びになっていることがある。・使い始めると止めることができない。 |
|---|---|

これらの問題は夏休みに限らず、タブレットを家庭に持ち帰る日常の課題です。この度、PTA 家庭教育学級では、全国で活躍されている情報教育の実践者として上水流先生をお招きして講演会を開催します。ぜひ、家庭における情報端末の活用と問題解決のためにご参加ください。

創立 150 年の歩み その1

明治6年に富岡の地に学びの場が創られてから150年がたちました。昭和48年に行われた100周年記念事業を受け継ぎ、地域の皆さんの手で150

明治 6 年	東深瀬村、西深瀬、高木村が連合、育文社を開く
明治 27 年	深瀬尋常小学校をつくる。児童130名
明治 43 年	尋常6年、高等科2年をおき富岡尋常小学校と改称
昭和 16 年	国民学校令により、富岡国民学校と改称
昭和 22 年	富岡村富岡小学校と改称

年記念事業委員会が起ち上がりました。100周年からの50年を歴史に刻むために様々な取組を企画していただいています。学校だよりも、シリーズで富岡小学校150年の歩みを紹介します。